



ナマズの知恵袋

平成25年(2013年)7月1日

編集・発行 滋賀県立図書館



さかな・サカナ・魚…

～淡水魚の調べ方～



もうすぐ夏休み。海に山に川に楽しいことがいっぱい待っています。

そこで、今回は湖や川に住む魚(淡水魚)の調べ方を紹介します。琵琶湖固有の魚や漁の仕方についても触れていますので、釣りや料理、夏休みの宿題にもぜひお役立てください。

湖や川などで見られる魚を調べてみよう

- 『原色淡水魚類検索図鑑』中村守純著 北隆館 1979年 [R-4875-ナ]

野生の淡水魚類 42科 102属 174種および亜種、キンギョ 12品種、ニシキゴイ 12品種を収録しています。

- 『日本の淡水魚』改訂版 川那部浩哉[ほか]編・監修 山と溪谷社 2001年 [Y-4875-ニ]

日本の淡水魚 312種の生態と写真を掲載しています。配列は分類体系順で参考文献、索引があります。

- 『淡水魚ガイドブック』桜井淳史・渡辺昌和共著 永岡書店 1998年 [Y-4875-サ]

日本の川や沼・湖に生息する淡水魚を、写真と詳しい解説で紹介しています。また、生息域とその見分け方、採集と飼育の仕方も紹介しています。

- 『原色日本淡水魚類図鑑』全改訂新版 宮地傳三郎[ほか]著 保育社 1976年 [R-4875-ミ]

- 『日本の重要な淡水魚類 近畿版』環境庁編 大蔵省印刷局 1982年 [Y-4875-8]

魚の釣り方や、釣った魚を調べてみよう

- 『川釣り魚の事典 釣り方から料理まで お父さんの

ためのトラの巻』ガイド出版社 2002年 [Y-7871-カ]

- 『湖沼と川のルアーフィッシング ブラックバスからトラウトまでの

釣り方のすべて』高橋大河著 日本文芸社 1999年 [Y-7871-タ]

- 『さかなの見分け方 詳細図鑑』講談社 1998年 [G-4875-サ]

釣りのときに見かける魚や淡水・海水魚介など 715種の見分け方がわかります。また、釣りの仕掛けや料理の仕方なども掲載されています。

- 『魚の事典』能勢幸雄[ほか]編集 東京堂出版 1989年 [R-4875-ノ]

配列は魚の名前や生態などの五十音順です。釣りや調理の仕方なども掲載されています。

- 『47都道府県・魚食文化百科』成瀬宇平著 丸善出版

2011年 [G-3838-ナ]

魚料理だけでなく、加工食品や魚にまつわる諸文化についてもわかります。都道府県別に編集されています。

- 『釣りと魚大百科』1 溪流・清流の魚、2 湖沼と河川の魚

ぎょうせい 1987年 [YB-7871-1・2]

- 『旬の地魚料理づくし』野村祐三著 講談社 2005年 [G-5963-ノ]

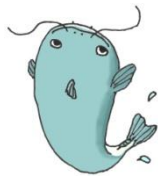


魚を守っていこう

昔はどこの川でもメダカを見ることができましたが、近年絶滅危惧種に指定され、近所の川ではなかなか見つけることができなくなりました。

■『日本の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブック』4巻 汽水・淡水魚類、6巻 陸・淡水産貝類 改訂 環境省自然環境局野生生物課編 自然環境研究センター 2003年・2005年 [RB-4875-ニ] で、このような魚や貝を調べることができます。また、最新の情報をしらべるには、■日本のレッドデータ検索システム(野生生物調査協会・エンヴィジョン環境保全事務所)をご利用ください。

<http://www.jpnrdb.com/index.html>



琵琶湖の魚とわたしたち

琵琶湖にはどんな魚がいるのかな？

琵琶湖にすむ魚のうち、固有種はビワコオオナマズなど 16 種。

■『滋賀県で大切にすべき野生生物 2010 年版 滋賀県レッドデータブック』 滋賀県生きもの総合調査委員会編 サンライズ出版 2011 年 [SB-4600-10]にも掲載されている大切な魚たちです。

魚の姿や生態を調べてみましょう。

■『湖国びわ湖の魚たち』増補改訂版 滋賀県立琵琶湖文化館編 第一法規 1991 年 [S-4880-91] ■『琵琶湖の魚』今森洋輔著 偕成社 2001 年 [SB-4880-01] ■『湖の魚・漁・食』滋賀県立琵琶湖博物館編・刊 2000 年 [5B-6680-00] ■『川と湖の回遊魚ビワマスの謎を探る』藤岡康弘著 サンライズ出版 2009 年 [S-4880-09] ■『琵琶湖のコイ・フナのお話』滋賀県立琵琶湖博物館編・刊 2007 年 [S-4880-07] ■『鯰 魚と文化の多様性』滋賀県立琵琶湖博物館編 サンライズ出版 2003 年 [S-4800-03] ■電子図鑑「滋賀のさかな」(滋賀県立琵琶湖博物館)

<http://www.lbm.go.jp/emuseum/zukan/gyorui/index.html>

『湖中産物図證』 琵琶湖の生物図鑑



「ホンモロコ」

江戸時代後期に制作された「湖中産物図證」(こちゅう さんぶつ ずしょう)より。

琵琶湖や余呉湖に住む魚やカニ・エビ・貝類を細密に描いた、最初の生物図鑑ともいえるべきものです。当館の[近江デジタル歴史街道](#)のページからご覧いただけます。

<http://www.shiga-pref-library.jp/wo/da/search/>

琵琶湖の漁業の歴史を知ろう！

■『琵琶湖総合開発地域民俗文化財特別調査報告書』1～5、資料編 滋賀県教育委員会編・刊 1979～1983 [S-6680-1～5]、[SB-6680-6]琵琶湖の漁業民俗について詳しく書かれています。特に、漁具や漁法などの変遷が写真や図を交えて掲載されているほか、湖魚の料理方法についても触れています。

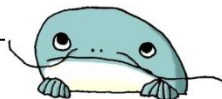
■『びわ湖の魚と漁具・漁法』滋賀県立琵琶湖文化館編 滋賀県立琵琶湖博物館 2000 年 [SB-6680-00]は、琵琶湖の漁業について季節別に紹介しています。 ■『みずうみに生きる』市立長浜城歴史博物館編・刊 1989 年 [S-6680-89]にも漁具や漁法の写真や図があります。また、■『わたし琵琶湖の漁師です』戸田直弘著 光文社 2002 年 [S-6680-02]も、湖魚の写真や投網などの具体的なやり方を掲載しています。

湖魚の伝統的な食べ方は？

有名なふなずしのほかにも、ビワマスを使ったアメノイオ御飯、イサザのじゅんじゅんなど、たくさんの料理があります。

■『湖魚と近江の暮らし』滋賀の食事文化研究会編 サンライズ出版 2003 年 [S-5900-03] ■『ふなずしの謎』新装版 滋賀の食事文化研究会編 サンライズ出版 2011 年 [S-5900-11] ■『魚々食紀 古来、日本人は魚をどう食べてきたか』川那部浩哉著 平凡社 2000 年 [S-3800-00] ■『つくってみよう滋賀の味』新装合本 滋賀の食事文化研究会編 サンライズ出版 2009 年 [S-5900-09]

魚のすめる環境を考えよう



ナマズは外敵を避けるために、水田に入ってきて産卵します。琵琶湖固有の魚たちを守るためには、琵琶湖と周辺地域の生態系全体のことを考える必要があります。

■『鯰 魚がむすぶ琵琶湖と田んぼ』滋賀県立琵琶湖博物館編・刊 2001 年 [SB-4800-01] ■『水田の生き物たち』滋賀県農政水産部農村振興課[編] 滋賀県 2012 年 [S-GH01-12] ■『滋賀県ビオトープネットワーク長期構想』滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課編集 滋賀県 2009 年 [SB-DG00-09] ■『琵琶湖のブルーギル・ブラックバスの実態と対策』滋賀県農政水産部水産課[編] 滋賀県 2003 年 [SB-GF00-03]

琵琶湖の環境については、[ナマズの知恵袋 第 31 号「知っていますか？ びわ湖のこと！」](#)も併せてご覧ください。